

令和8年度第1回大分県総合教育会議次第

令和8年5月22日（金）

16:00～17:00

県庁本館4階第一応接室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

義務教育段階からのキャリア教育の充実について

4 閉会

各段階におけるキャリア教育に関する主な取組

資料 1

小学校

将来への夢や希望を育み、**働くことや社会への関心**を高める

【学校の実践例】

- 係や当番の仕事を行う
- 地域のお店や工場等の見学

【県の取組】

- 「未来をえがくキャリア・ノート!」(R2～)
→小中学生の自己理解・目標設定を支援
- 「キャリア教育実践交流協議会」(R2～)
→小中教員の指導力向上
- 「ミライ×シゴト探究プロジェクト」(R8～)
→様々な職業分野の講師を中学校へ派遣し職業講話を実施
- 科学体験プラザ(サイエンスショー)の開催
→実験や体験を通し、科学やものづくりへの関心を高める

中学校

自分の興味・関心や将来の**生き方**を踏まえ、現実的に進路を考え始める

- 地域での職場体験活動
- 学校での職業講話

高校

自らの生き方や将来を見据えながら、**主体的に進路を選択・実現**する

- 産業界と連携した探究的な学習や卒業生等を講師とした授業
- インターンシップによる職場実習
- 大学等によるキャリア教育支援

- キャリアプロデューサーを活用した県内企業の周知
→生徒・保護者への県内企業情報の発信
- グローバルリーダー育成塾等の実施
→世界に羽ばたく人材の育成
- 高校生向け出前講座や魅力発信イベント・パンフレット等の作成(保育、介護、自動車運送業界など)
→自治体、企業等から各職種の魅力を発信し、興味を喚起

- 合同企業説明会の開催
→生徒と企業のマッチング機会の提供、企業理解の深化

高等教育機関等

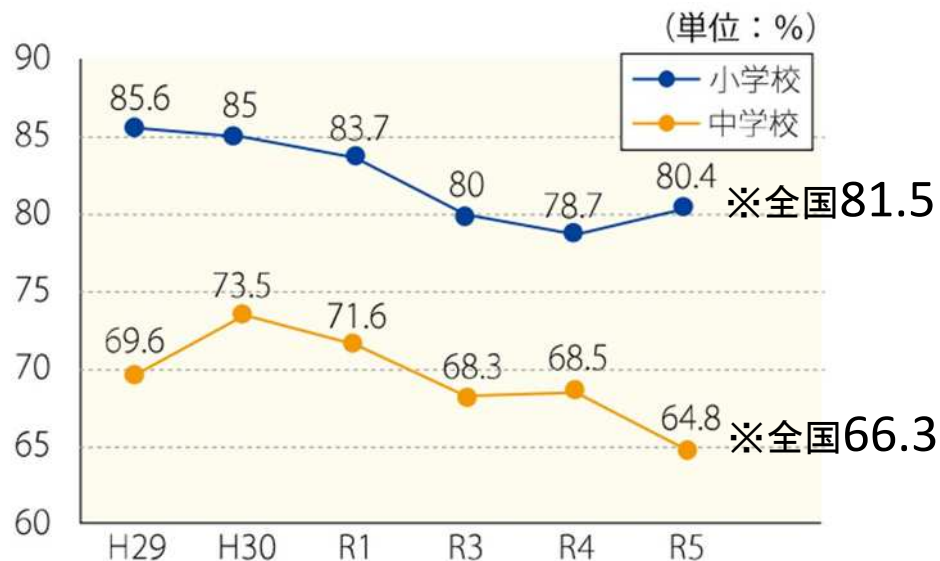
社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を深化する

- 各分野の専門教育(実習・演習)等

- ものづくり企業を学生が訪問する“産”観日の開催
- 医学生・看護学生・薬学生向け病院見学ツアー開催
- 大学等への出前講座の実施(半導体・建設産業等)

現状・課題

- ✓ 将来の夢や目標について考える機会の必要性
- ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合
- ➡小学校から中学校へ進むと数値が下がる傾向



(全国学力・学習状況調査より) ※R6は小82.6%(全82.4)中67.1%(全66.3)

- ✓ 職場体験を充実させることの難しさ
- ・職場体験を実施している県内公立校の割合
- ➡職場体験実施93.2%うち2日以内90.9%
- (令和 6年度大分県教育課程実施状況調査より)
- ✓ 学校が地域・社会と連携協働した教育活動を実施することの難しさ
- ・「地域や企業等と連携した教育活動を実施した」と回答した小中学校の割合 ➡小68.7% 中61.0%
- (令和6年度大分県教育課程実施状況調査より)

学校と地域・社会との連携協働を促し 児童生徒が主体的に将来の進路選択を行うためのキャリア教育を推進

取組

①「未来をえがくキャリア・ノート！」普及・活用促進

小中学校9年間の学びをつなぐノートの配付



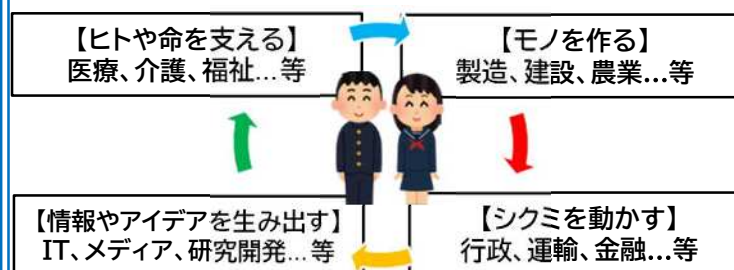
②キャリア教育実践交流協議会

キャリア教育担当者を対象とした協議会



③大分ミライ×シゴト探究プロジェクト

4つの業種を設定した職業講話の実施



①「未来をえがくキャリア・ノート！」普及・活用促進

目的

県内の小学1年生に、小中学校9年間をつなぐ記録ノートとして大分県版「キャリア・ノート」を配付し、将来の夢や希望、職業観・勤労観の変容及び成長を自己評価できるようにする。
また、教師が、その記述をもとに対話的に関わることによって、児童生徒のキャリア形成を促すための援助資料とする。

内容

- R8 入学児童から改訂版配付
- プリント貼付のためにサイズ拡大、空白ページを追加
- デジタル版の公開、編集・追加を容易にする

「キャリア・ノート」活用方法・構成について

学年の始め → 年間を通じて → 学年の終わり

各教科等、学級活動、学校行事、クラブ活動(小)、家庭・地域での活動等に係る記録 など

未来をえがく
キャリア・ノート!

秘密

大分県教育委員会

- 児童生徒が自ら記入し、学期、学年、入学から卒業までの学びを見直し、振り返るとともに、将来を展望することができるような内容で構成しています。
- 「キャリア・ノート」で扱うのは、学校生活全体及び家庭、地域における学びを含む内容となります。そのため、教科の学習のみ、学校行事等のみの自己評価表とならないよう、
 - ①教科での学習
 - ②教科外での学習
 - ③学校外の活動
 などを含めた見直しや振り返りができるような内容としています。
- 自己有用感の醸成や自己変容の自覚に結び付けられるように、周りの大人(家族や教師など)からのコメントを記入する欄を設けています。家庭等の負担に配慮しつつ、各学校の実情に応じて、誰にコメントを書いてもらうかを検討してください。

「キャリア・ノート」指導・活用の手引きより

②キャリア教育実践交流協議会

目的

「大分ミライ×シゴト探求プロジェクト」や、キャリア・ノートの取組について紹介の場を設けることで、当該事業の意義の周知や活用促進等を図る。また、キャリア教育に関する講演及び実践交流、協議や、紹介の場を設けることで、県下のキャリア教育の推進を図る。

内容

- キャリア教育を推進する立場の教員を対象に、協議会を開く

令和8年度 子どもの力と意欲を伸ばすキャリア教育実践交流協議会

期日：令和8年 6月26日(金)
場所：別府国際コンベンションセンター (ビーコンプラザ)
国際会議室

1 説明
「キャリア教育の目的、キャリア・ノートの意義・目的について」

2 協議
「キャリア・ノートの活用を位置付けたキャリア教育の実践について(予定)」

3 講義
講師：筑波大学 藤田晃之 教授

令和7年度子ども力と意欲を伸ばすキャリア教育実践交流協議会

期日：令和7年 7月29日(火)
会場：ビーコンプラザ 国際会議室
参加者：特別活動または進路指導を推進する立場にある教員等
内容：「子ども力と意欲を伸ばすキャリア教育について」「キャリア教育推進の取り組みとキャリア・ノートの活用について」
実践発表：「大分県「未来創造プロジェクト」実践の取組について」
高島 貴之 氏
「キャリア・ノートの活用によるキャリア教育の実践」
講義：「キャリア教育の意義とキャリア・ノートの活用について」
講義：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科課程官
国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査課
国立教育政策研究所企画室 企画推進研究センター 研究開発員
東北福祉大学教育学部教育学科 教授 長田 誠 氏

【講演の概要】
■学習指導要領に示されたキャリア教育の意義について
国際的な視点からキャリア教育の意義と今後の展望について
■キャリア・ノート活用の意義とその分析から日本の現状について
■キャリア・ノート活用の実践について
■キャリア・ノート活用の実践事例
- キャリア・ノートを活用した自己評価の具体的な実践事例



令和7年度子ども力と意欲を伸ばすキャリア教育実践交流協議会の様子

③大分ミライ×シゴト探究プロジェクト

目的

県の指定企業等が、県内各地域の中学校を対象に職業の社会的役割や求められる資質・能力に関する出前授業を実施し、事前・事後指導を通じた探究的な学びを促すことで、中学生の社会参画意識を醸成し、勤労観・職業観を形成するとともに自己理解を深める。

内容

- 県内の指定企業(30社程度)と連携し、県内各地域の対象中学校で新たな職業観の形成に向けた出前授業を実施する(18校程度)
- 対象中学校が、県作成の指導計画を参考に、生徒のキャリア発達に向けた探究的な学習を実施する
- 県と指定企業、学校による成果や課題の共有を通して、双方にとっての価値を創造し、学校と地域・企業との連携を推進する

社会的役割を視点に分類した4つの業種を設定

【ヒトや命を支える】
医療、介護、教育、福祉...



中学生



【モノを作る】
製造、建設、エンジニア、農家...



【情報やアイデアを生み出す】
IT、広告、メディア、研究開発...



【シクミを動かす】
行政、法律、物流、金融、インフラ...



探究学習の進め方

- (事前学習) ・自己の適性や自分らしい生き方について考える。
- (プロジェクト) ・学校の体育館等に、参加企業がそれぞれ説明用のブースを設定する。
・生徒は「社会的役割を視点に分類した4つの業種」から1つずつを選択し、全部で4つの業種について学ぶ。
・各ブースでは、「仕事内容」「やりがい」「進路選択や求められる力」などを15分説明→5分間の質疑応答を行う。
- (事後) ・プロジェクトでの学びをもとに、自分らしい生き方や自分の良さを活かせる職業について考え、職業観・勤労観の形成につなぐ。

タイムスケジュール (例)		Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
オリエンテーション	10:10-10:20	全体			
第1セッション(20分)	10:20-10:40	ヒトや命を支える	モノを作る	情報やアイデアを生み出す	シクミを動かす
第2セッション(20分)	10:40-11:00	モノを作る	情報やアイデアを生み出す	シクミを動かす	ヒトや命を支える
休憩					
第3セッション(20分)	11:10-11:30	情報やアイデアを生み出す	シクミを動かす	ヒトや命を支える	モノを作る
第4セッション(20分)	11:30-11:50	シクミを動かす	ヒトや命を支える	モノを作る	情報やアイデアを生み出す
リフレクション	11:50-12:00	全体			

議論していただきたいこと(案)

- 子どもたちが多様な職業観を形成し、地域や社会に貢献しようとする意欲を醸成していくためには、義務教育段階からどのような取組が大切か。
- 義務教育段階からキャリア教育を充実させていくには、知事部局や地域、企業等とどのように連携していけばよいか。

新規高等学校卒業者の進路状況(令和7年3月時点)

(単位:人)

	総数	大学等 進学	就職者 総数	農業 林業 漁業	建設業	製造業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	宿泊業 飲食業	医療 福祉	公務	その他 (就職)	その他
人数	8,994	6,736	2,036	14	267	748	117	121	119	98	153	399	222
割合	—	74.9%	22.6%	(0.2%)	(3.0%)	(8.3%)	(1.3%)	(1.3%)	(1.3%)	(1.1%)	(1.7%)	(4.4%)	2.5%

(出典)令和7年度大分県新規学卒者実態調査

新規高等学校卒業予定者の産業別求人数

(単位:人)

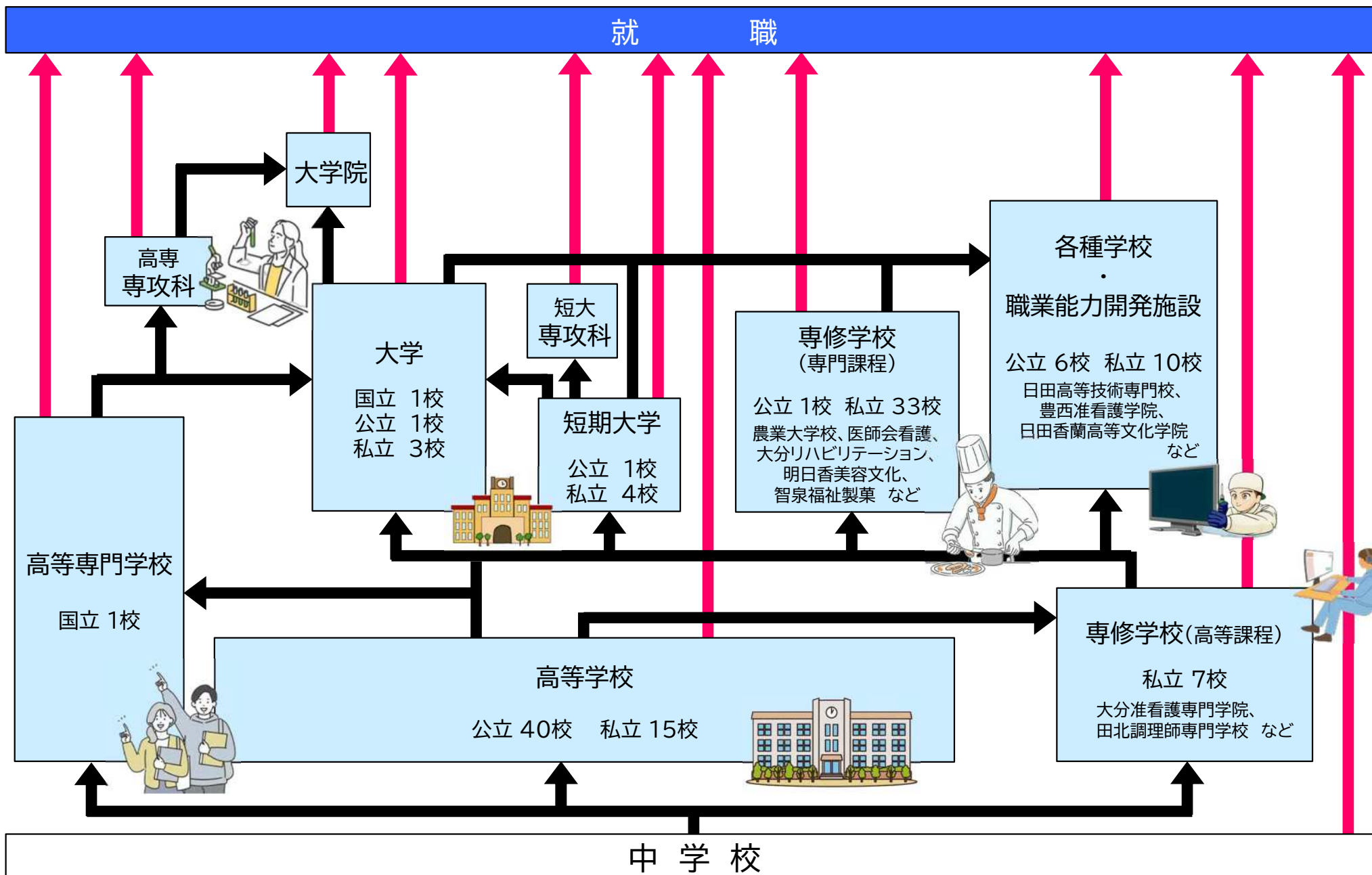
	求人数 総数	農業 林業 漁業	建設業	製造業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	宿泊業 飲食	医療 福祉	その他
令和7年3月卒	5,219	73	1,184	1,452	356	442	343	684	685
令和8年3月卒	5,219	48	1,188	1,478	351	482	306	673	693

(出典)大分労働局職業安定課調査

連携企業等一覧

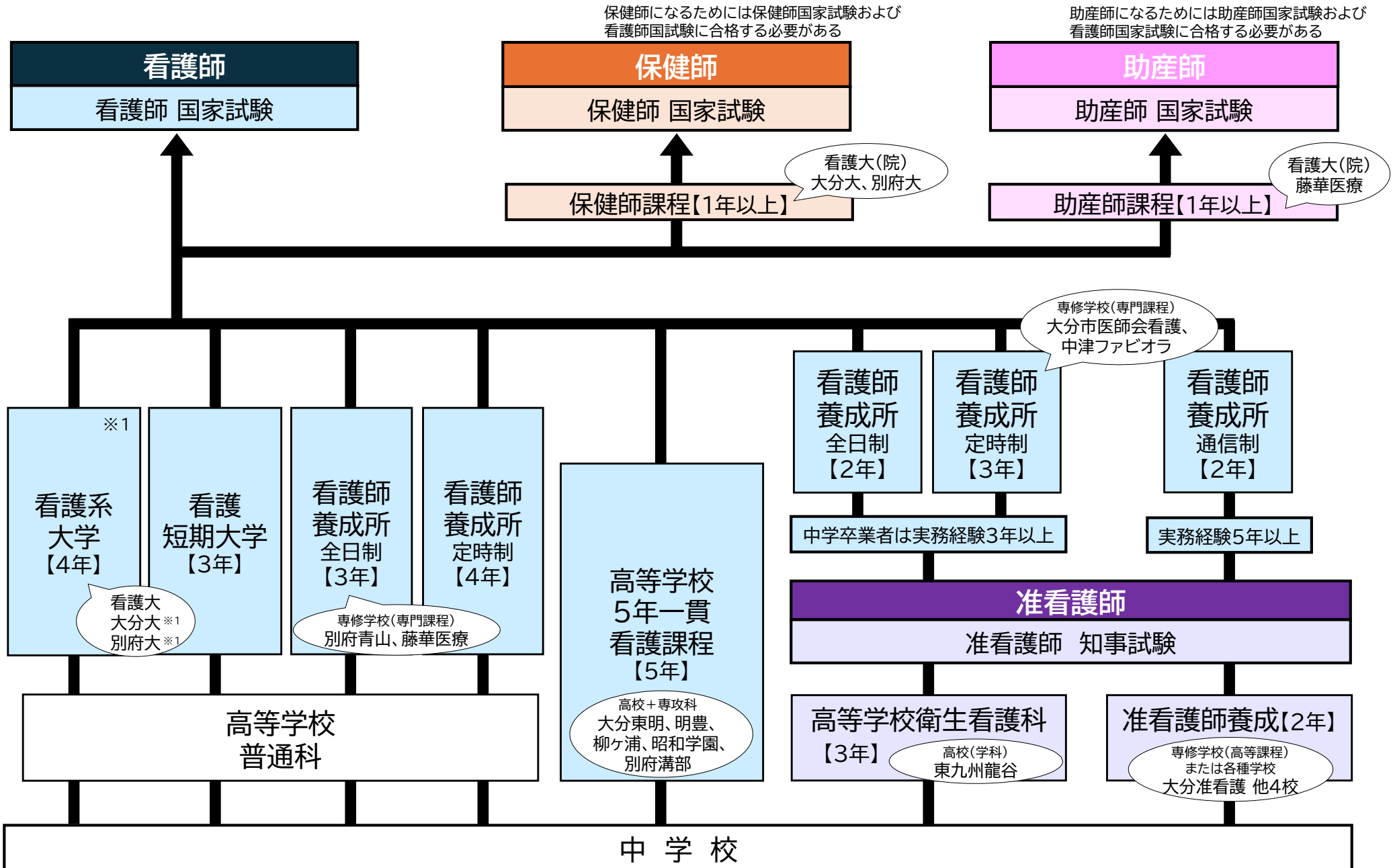
	職業名	企業等名
ヒトや命を支える	薬剤師	県薬剤師会
	保健師	県福祉保健部
	管理栄養士	県福祉保健部
	臨床検査技師	県福祉保健部
	診療放射線技師	県福祉保健部
	カウンセラー	県福祉保健部
	獣医師	農林水産部 畜産振興課
	美容師/ネイリスト	明星国際ビューティカレッジ
	理学療法士	県理学療法士協会
モノをつくる	半導体製造	県工業振興課(県LSIクラスター形成推進会議)
	フラワーアレンジメント	野田麗華園
	造船業	九州運輸局
	工業	県工業振興課(県工業連合会)
	農業/林業/水産業	県農林水産部
	建築士	大分県建築士会
情報やアイデアを生み出す	デザイナー/イラストレーター	MIRU PRINT print pattern & illustration
	プログラマー/システムエンジニア	ハイパーネットワーク社会研究所
	プロダクトデザイナー	NAHO DESIGN
	新聞記者	大分合同新聞社
	番組企画/映像製作	TOS
	情報誌製作	アドヴァイス
	イベント企画	ハーモニーランド
シクミを動かす	行政職員	大分県人事委員会
	運輸業	九州運輸局
	弁護士等	大分県弁護士会
	警察官	大分県警察本部
	税務署職員	大分県税務署
	空港職員	交通政策局交通政策企画課
	銀行業	日本銀行大分支店

※上記の職業から、学校の希望日に応じて調整の上、派遣する予定。



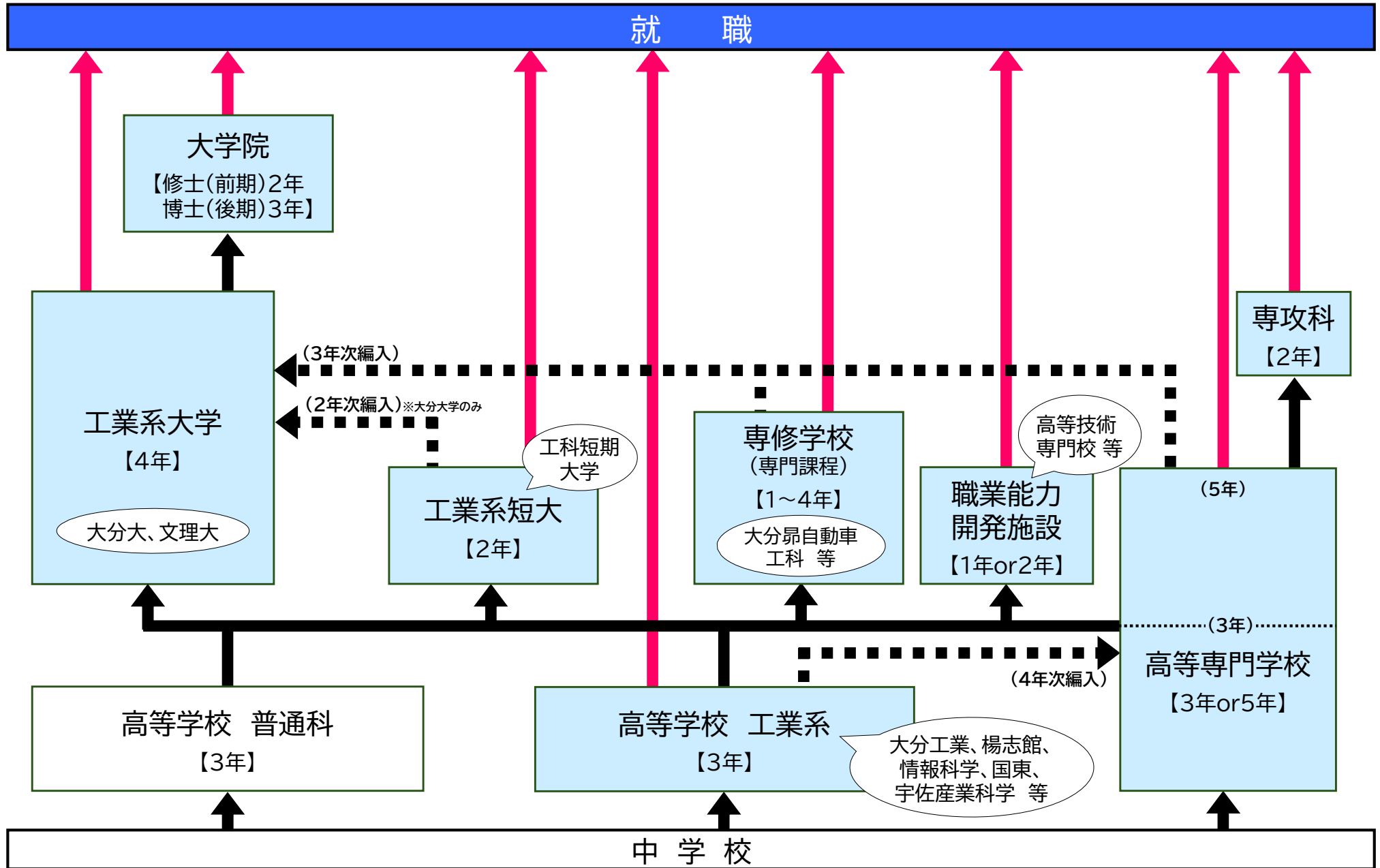
※赤色の矢印:就職、黒色の矢印:進学(編入)

看護職の資格取得までの進路イメージ



※1 看護系大学では、4年間の教育の中で、保健師と助産師教育プログラムがある場合は、看護師に加えて保健師と助産師の国家試験受験資格を得ることができる。

工業系の主な進路イメージ



※赤色の矢印:就職、 黒色の矢印:進学(編入)

